

Peace

Through Service

奉仕を通じて平和を

ガバナー月信8月号



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

8 2012-2013
August
vol.2

国際ロータリー 第2660地区
2012-2013年度ガバナー

高島 凱夫

2012-2013年度 RI第2660地区方針

「育もう未来の力を ～飛躍～」

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2012-2013

8 2012-2013
August
vol.2

CONTENTS

会員増強・拡大月間にあたって	1
(会員拡大増強のための)手作りの、勝利の方程式を完成させましょう(DIY)!	2
2015-2016年度 ガバナー・ノミネー候補推薦について	3
GSEスリランカ派遣チーム報告会	4
青少年交換プログラム 2013-2014年度 派遣学生募集要項	5
青少年交換送別会・歓送会	6
2012年度 第2660地区インターアクト 新入生歓迎会	7
災害支援プロジェクト報告(第14回)	8
ロータリー財団情報 / お知らせ	9
文庫通信	10

会員増強・拡大月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



RIは8月を「会員増強・拡大月間」と定め、世界のロータリアンに会員増強を促しています。しかし、会員増強・会員維持は、一年間を通じて、いや皆様方がロータリアンである限り、皆様方に定められた「義務」でもあることを先ず申し上げたいと思います。

皆様方は、ロータリークラブに入会して、ロータリーライフを充分に楽しんでいらっしゃると思っています。ある時、この組織の将来についてお考えになったことがおありかと思えます。私は、ロータリーが未来に継続されていくもの、継続されて欲しいと思えます。

そのためには、ロータリークラブを引き継いでいく「若いロータリアン」の育成に力を注がなくてはならないでしょう。それに加え、未来の地球の平和を維持していく「若い力」を育む義務がロータリアン、あるいは人生の先輩である私どもにはあります。

新しいメンバーを増やす為には、ロータリアン以外の人々が「入会したい」と思えるクラブにすること…、これは松本PGが提唱した「ロータリーについてもう一度考えてみませんか」、岡部直前ガバナーの「見直しを進め新たな第一歩を」を踏まえ、各クラブが魅力あるクラブ造りに邁進されたことと思えますし、今後も更に魅力のあるロータリークラブになるようお力を注いでいただきたいと願っています。もちろん、地区も魅力あるクラブ造りのサポートをさせていただきます。

停滞している現状を脱却するためには、質の高い、ロータリーにふさわしい新しい力を注入する必要に迫られていることは、皆様方充分すぎるほどお判りだと思えます。さまざまな社会的変化に伴い、「ロータリー自身も変化」する必要があります。田中RI会長もロータリーの改革を訴えています。「ロータリアン自身も変化」をして行く→変わらなくてはダメなのです。女性会員入会もその「ロータリアン自身の変化」の範疇に入る重要な事項だと考えます。

当地区の2012年5月度の会員数は3732名です。全力を尽くして「ロータリアンの素質」を持った会員を増強する努力をしなくてはならないと思えます。地区で3900名、各クラブ6%の純増をお願いしたいと思えます。極力、3900を大きく上回るようにしませんか!!

多分、月信をご覧の皆様方は「そんなこと出来ない」と思っていると思えます。しかし、自然退会者を含めた退会者のことを考えると、この数字でも結果的には、凄く低い数字になってしまうことは、皆様良くお判りだと思えます。

地区クラブ奉仕・拡大増強委員会でも「プロジェクト3900」というプロジェクトを立ち上げ、増強・会員維持に力を入れていくことになっています。

全力を尽くす、或いは努力をするだけでなく、全力を尽くして努力をして戴きたいと思えます。

手作りの、勝利の方程式を完成させましょう(DIY)!

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

東村 高良 (大阪うつぼRC)

勝利の方程式と言えば、(元)岡田監督時代の『阪神タイガースの勝利の方程式JFK』が有名でした。先発ピッチャーが6回まで投げてリードしていれば、7回はJウィリアムス、8回はK久保田、9回はF藤川が抑えて=勝利の運びとなり、六甲おろしの大合唱へのシナリオが常に成立していました。ところが、(現)和田監督のタイガースも、そして(現)岡田監督のオリックスも新たな勝利の方程式を見い出せていません。それ程、勝利の方程式を作り上げることは難しいものようです。皆が一丸となって、知恵と工夫と努力を傾注し、DIY(手作り)でないと、完成出来ないものようです。ここで、(DIY)は、Do it yourself の略で、自分(たち)で作りに上げる、手作りの、といった意味としてみてください。

翻って、現在のロータリークラブにおける会員増強の問題点の幾つかは、過去2年間のアンケートの分析で少しずつ明らかになっております。

- (1) 新入会員数は思いのほかある。
- (2) それを、上回る退会者数がある。
- (3) そのために、会員数の減少傾向が15年間続いたままで回復の兆候は一向に見えない。

ここから言えることは、

- 〈1〉新入会員を増やすと言うスローガンだけではダメである。
- 〈2〉退会防止のスローガンも、同時に必要である。
- 〈3〉退会防止のためには、『奉仕の理想に集いし友が、皆が参加して、尊敬しあえるような、真に意義のある、理想の奉仕を、実践し、精進し、具現化して行く』『例会』の充実が必須でありましょう。

そこで、6月2日(土)、大阪科学技術センターにて行われました、今年度の「RI第2660地区クラブ奉仕・拡大増強セミナー」での各ロータリークラブからの貴重で具体的な事例発表からは、次のような、勝利の方程式が考えられます。

プロジェクト3900 会員拡大増強のための

◎勝利の方程式 = [1: 会員増強の最大化] - [2: 退会者の最少化] + [3: 「例会」の充実]

ここで、

<1: 会員増強の最大化> のための諸方策としては、

- ① 会長が、スローガンを掲げ、目標を、明確に、宣言する。
- ② スーパーマンを見つけ+超手を兼任で、或いは経験者を登用して、会長ブレンチームを結成し、諸施策を立案、実行、改善し、実施して行く。
- ③ まず年度初めに、全員に、候補者をリストアップしてもらう。
- ④ 候補者へのアプローチの優先順位を、会員増強委員会と当該の会員と共に、検討しておく。「異業種交流に興味はありますか」「有名な方と毎週会えますよ」「野球選手として甲子園デビューしませんか」「囲碁同好会がありますよ」「会長さん、社長さん、医師、弁護士など超一流がそろっていますよ」「・・・」
- ⑤ 「会費が高そうですね」に対しては「・・・」「毎週出席はつらいですが」に対しては「・・・」等々の問答集を、用意しておく・・・
- ⑥ 話のキッカケとして、パンフレットは有効。
- ⑦ 毎月定期的に、進捗管理をして、常に前向きに推進して行く。
- ⑧ その他

<2: 退会者の最少化>

- ① 声掛けとフォローアップ
- ② クレーム対応、クレーム処理
- ③ その他

<3: 奉仕の理想を具現化する「例会」の充実>

- (1) 年間の「例会」および「卓話」を、おおよそ、次の5項目①②③④⑤に回数を分配する。
- (2) 各人の卓話テーマは、会場監督と相談立案の上、出来るだけ早期に、卓話テーマを公開して、早い時期から周知し、期待してもらうようにする。
 - ① 「奉仕」: テーマ名、意義、目標、実施方法、期待できる成果、社会的評価など、
 - ② 「異業種交流」: 自分の生業を丁寧に紹介し、異業種交流の参考になるように心掛ける。
 - ③ 「友好」
 - ④ 「ロータリーを知る」「ロータリーを理解する」「ロータリーでの理想の先輩とは」・・・

さらには、

- ⑤ 「学びの例会」: 教養を高めるため、時事問題などを取り上げる、等々。

各クラブ様におかれましては、手作りで、独自の勝利の方程式を確立させ、実施して、実効を上げていただくに当たっての、参考にしていただければ、誠に幸いに存じます。

高島ガバナーの掲げられた当地区のロータリアンを3900名まで増員する
「プロジェクト3900」を勇んで達成させましょう

2015-2016年度 ガバナー・ノミネー候補推薦について

国際ロータリー 第2660地区
各ロータリークラブ 会長様

国際ロータリー第2660地区
ガバナー **高島 凱夫**
地区ガバナー指名委員会
委員長 **岡部 泰鑑**

2015-2016年度 ガバナー・ノミネー候補推薦書提出の要請

RI細則13.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により、地区内の各クラブで2015-2016年度ガバナー・ノミネー候補者がおられましたら、10月31日までにガバナー指名委員会委員長(地区ガバナー事務所)宛に必着するよう提案して下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条15.070、15.070.1～15.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミネー候補者の選出を行うにあたっては、その選出の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない、ということをご了承下さい。(国際ロータリー細則第13条13.020.5)

GSEスリランカ派遣チーム報告会

研究グループ交換委員会 委員長
田中 義久 (大阪西RC)

2012年5月25日、北区にあるパーティ会場にてGSEスリランカ派遣チームの報告会が行われました。この報告会をもって、2010年5月頃より準備してきたスリランカとの交換研修が終了しました。

例年は単年度で各地区との派遣・受入という交換研修が行われるのですが、スリランカとの交換においては第2660地区の費用でその両者が行われることが決まっていたので、2011年4月にスリランカチームの受入を行い、2012年3月に日本チームのスリランカへの派遣を行うことになっていました。準備万端整え終わったのは受入の約一カ月前でしたが、そんな時に3.11東日本大震災が発生したのです。それにより、一旦はこの交換研修は中止となったのです。しかし、スマトラ沖地震による津波被害を経験したスリランカの地区メンバーは、福島原発の風説被害をものともせず、交換研修を強く希望し、半年遅れの10月に受入を行い、翌4月に派遣を行うことが再度決定したのです。

今回は本当に様々なトラブル・ハプニングがありました。選考に際し、5名の募集に対し6名の応募しかなく集まらなかったことや、地震の影響でスケジュールを再構成しなければならなかったこと、さらにスリランカからの書類の提出が遅れたり、国際ロータリーの規約に適したスケジュールを組んでくれなかったりと冷や汗の連続でした。



特に日本からの派遣チームは、それぞれ職業が異なるにもかかわらず、5人一緒の行動スケジュールがほとんどで、各自の職業研修プログラムはほとんど組まれていなかったようです。

しかし、それぞれのメンバーは泉博朗団長を中心に、それぞれ工夫して、例えば自ら消防署を訪れて日本の消防活動・救急活動を説明し、一泊宿直を経験するなど自ら研修プログラムを申出たり、日本ではルーズとしか言えない時間の感覚にじっと耐えたりということがあったようです。

団員は1名の女性と3名の男性でしたが、スリランカでの報告をする彼らは出発前に比べて確かにしっかりとした顔つきになっており「男子三日見ざれば刮目して見よ」という言葉が頭によぎりました。

今年度は新委員長の急な入院により、急遽その代役となった私ですが、退院し復帰された岸上前委員長と共にたくさんの皆さまのご支援をいただき無事プログラムを終了させることのできた感謝の意を表したいと思います。

青少年交換プログラム

2013-2014年度 派遣学生募集要項

青少年交換委員会 委員長
角谷 真枝 (茨木西RC)

青少年交換プログラムは、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせあい、我が子のように育ててみようという試みに端を発しています。子どもたちは異国という厳しい環境の中、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで、異文化にふれあい、生活することで互いの立場や違いを認め、尊重する真の国際人として成長していきます。そしてこのプログラムは、次世代の青少年の育成という有意義な奉仕活動として認められ、1972年にRIの定める正式プログラムとなりました。近年、世界中で年間7,000人の16歳から18歳の高校生が参加しています。

こうしたプログラムの成り立ちから、青少年交換プログラムのみ、ロータリアンの子弟参加が認められています。また、ロータリアンの子弟のみならず、関係者の子弟、または来日学生達がお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。

次年度(2013-2014年度)の青少年交換学生を下記の要領で募集いたします。各クラブにおかれましては、このプログラムの次世代を担う青少年の育成という趣旨と目的をご理解いただきまして、是非ともご参加していただきますようお願いいたします。

1. 主な交換相手国

アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、オーストラリア、スイス、スウェーデン、台湾、ポーランド

2. 交換期間

- ・2013年8月に出発し、期間は約1年間。
- ・採用及び派遣先は青少年交換委員会において決定します。

3. 交換内容

各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に努めます。

4. 費用

プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費、教育費(高校)の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格

- 1) 出発時、16~18歳の高校生であること。
- 2) 健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は、学年で上位1/3以内の者。(在学高校により差があるので、相談に応じます。)
- 3) 学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。
(派遣中における現在の学校での単位取得等に関しましては、各学校とご相談下さい。また、派遣相手国での学校の単位は基本的には取得できません。)
- 4) ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。

6. 応募期限

2012年9月28日(金) (期限を厳守願います。)

7. 応募方法

応募者は、スポンサークラブを通じて地区青少年交換委員会またはガバナー事務所にお申込みください。なお、申込書はガバナー事務所までご請求ください。

8. 来日学生の受入

原則として、派遣学生を送出したロータリークラブは、交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。

9. 短期交換プログラム

1年間の長期交換のほかに、夏休みに約1ヶ月づつ交換する短期交換プログラムもあります。

〈お問い合わせ〉

国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所
担当: 今井
〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
Tel: 06-6264-2660 Fax: 06-6264-2661

青少年交換送別会・歓送会

青少年交換委員会 前委員長

野村 正勝 (箕面千里中央RC)

昨年の8月下旬に来日した学生6名(2名はすでに帰国)が1年のプログラムを終了し、帰国に当たり彼ら彼女らを母国に送別する会と、今年、外国に派遣される学生6名を送り出す会がシティプラザホテル大阪で6月23日の午後5時半から開催されました。

ホストファミリーやロータリアン、ROTEXのメンバーら総勢60名が参加した華やかな会になりました。まず岡部 泰艦ガバナーが開会の挨拶に立たれ「皆さんおめでとうございます」と来日学生に語り掛け、その努力を労われました。その後、福家 宏ガバナー・ノミニーが乾杯の音頭を取られ、派遣学生に「健康に気を付け、プログラムを全うするよう」激励されました。

先ず磯田幹事が派遣学生を紹介し、彼女達が壇上に並び、順次英語で苦心のプレゼンを出席者の前で披露しました。1年間のオリエンテーションの成果が見事に結実した瞬間でした。委員長から講評があり、その後、彼女らの特技の披露に移りました。大森さんは得意のカメラで芸術の香る写真をパワーポイントで紹介しました。村井さんはピアノのポータブル鍵盤を使い習熟した技で名曲を弾き、トランペットも吹いてくれました。上木さんは



壇上で筆さばきも鮮やかに「夢と希望」と墨書しました。岩谷さんは習熟した技でバントワリングを演じました。山下さんは合気道二段のお母さんと鮮やかな演武を見せ、田口さんはけん玉に興ずる妹さんをバックに華やかな洋舞を見せてくれました。何という才能のオンパレードでしょう! これで会場が例年以上に盛り上がりました。

引き続きROTEXのメンバーが壇上に登りみんなで激励の合唱をしてくれました。そしていよいよ来日学生のお別れの言葉です。例年ここで会場が涙するのですが、6名の登壇者は皆、陽気で、「最初は苦労したが慣れるにしたがって大阪が大好きになりました」という感想が共通項でした。やや緊張したためか日頃の流暢な日本語は影をひそめていましたが、ホストファミリーの皆さんもほっとした瞬間でした。委員長から5名全員にプログラム終了の認定書を手渡しました。委員会の皆様も一年のご苦勞が報われたひと時でもありました。

最後に泉 博朗次年度ガバナー・ノミニーが「自然体で頑張れ」とエールを送られました。

会の準備をしてくださったROTEXの皆さん、担当の岩佐委員に感謝しながら、ホストファミリーの皆様、担当ロータリアンの皆様の心温まるお世話に委員会一同心よりお礼を申し上げご報告とさせていただきます。



2012年度 第2660地区インターアクト 新入生歓迎会

2011-2012年度 インターアクト委員会 委員
田中 康正 (八尾RC)

6月3日(日)快晴、舞洲スポーツアイランドに6校のインターアクター72名、顧問15名、ロータリアン28名、事務局1名、合計116名が集合。今年度の新入生歓迎会は、インターアクター達へのエールの言葉“全ての細胞のスイッチをONにして、感動を!”という奥田委員長の開会の挨拶で始まりました。また泉次年度ガバナー・ノミネーより“何事も体験することが大切であり、チャンスは一瞬である”という体験談も伺いました。

その後、全員が8班に分かれて、ウォークラリーに参加。ロッジ舞洲前を出発し、各施設に関するクイズに答えながら2kmのコースを周りました。新入生達も地図を片手に、少しずつ雰囲気慣れた様子でした。

昼食のバーベキューでは、初体験の“火おこし”に挑戦するインターアクター達を、ロータリアンが手助けする姿もありました。満面の笑みで食事を楽しみながら会話もはずみ、学校の枠を越え、世代を越えて親睦を深めることができたと思われま



午後からは、岡部ガバナーにも参加して頂き、“家族への感謝の思い”をテーマに、大阪湾の海底粘土を使った陶芸体験が実施されました。生徒達は、家族又は自分への贈り物として、茶器や小物入れの制作に取り組んでいました。真剣な眼差しで互いに刺激し合いながら、夢中になってロクロを回す様子から、作品への思いが伝わってくるようでした。縄文時代からある土器作りを体験することは同時に、日本文化の理解につながります。

このように一人一人の思いを形に、夢を形にする体験は、今年度RIテーマ“こころの中を見つめよう博愛を広げるために Reach Within to Embrace Humanity”の一つの実戦であったのではないかと思います。また新入生達も友人の輪が広がり、相互理解を深めることにより、さらに奉仕活動の輪が広がることが期待されます。次世代を担う若者の育成に携わり、共に成長できることが私の喜びでもあります。

閉会式では、岡部ガバナーにご講評を頂き、ウォークラリーのクイズ正解者には景品が授与されました。そして、次年度幹事校の浪速高等学校・中学校へと地区旗の引き継ぎも無事終了しました。

最後になりましたが、このような有意義な新入生歓迎会を企画運営されました相愛中学・高等学校の皆様、大阪ロータリークラブの皆様へ心から感謝申し上げます。今後ともインターアクトクラブへのご理解とご支援を、よろしく願い申し上げます。

災害支援プロジェクト報告(第14回)

災害支援プロジェクト 委員長
岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

中赤崎小網組合 漁民交流センター支援プロジェクト

大船渡市中赤崎小網組合から支援要請のありました「漁民交流センター建設支援プロジェクト」につきまして、地区内クラブに寄付のお願いをいたしましたところ、20クラブのご賛同をいただき、2,351,000円の寄付が集まりました。皆様からのご支援に対しまして心より御礼申し上げます。

本プロジェクトは、寄付金2,351,000円、地区基金524,000円、合計2,875,000円となり、7月17日に水沢東ロータリークラブに送金いたしました。

	クラブ名	寄付金額
1	大東中央	150,000
2	東大阪	500,000
3	東大阪東	50,000
4	茨木東	200,000
5	池田	30,000
6	池田くれは	30,000
7	大阪東淀ちやまち	10,000
8	大阪城南	50,000
9	大阪中之島	50,000
10	大阪ネクスト	50,000

	クラブ名	寄付金額
11	大阪大手前	100,000
12	大阪咲洲	20,000
13	大阪西南	100,000
14	大阪そねざき	39,000
15	大阪うつぼ	100,000
16	大阪ユニバーサルシティ	300,000
17	四條畷	13,000
18	新大阪	300,000
19	高槻西	200,000
20	豊中南	59,000

合計	2,351,000
----	-----------

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

2012～13年度がスタートしました。本年度のロータリー財団活動は、ノンパイロット地区である当2660地区では従来のロータリー財団活動と同時に、2013年度から全世界で実施される「未来の夢」の計画年度の活動となります。

1. ウィルフリッドJ. ウィルキンソン2012～13年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、「1. ポリオを撲滅する(End Polio Now)。2. 未来の夢計画の準備を整える。3. 財団の教育的プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて、世界に平和を育む。4. ロータリー財団への寄付を全ロータリアンに願う。5. 財団の資金をしっかりと守る。」としており、この目標の達成を目指します。
2. 従来の財団プログラムである、国際親善奨学金、マッチング・グラント、地区補助金(DSG)、研究グループ交換などのプログラムは2012～13年度で終了します。

2013～14年度からはグローバル補助金または新地区補助金(DG)を利用して奨学生の派遣や人道的プロジェクトを実施できます。ロータリー平和フェロシップは、2013～14年度以降も継続します。

3. ポリオ2億ドルのチャレンジ進捗状況は、2億ドルのチャレンジの目標は達成され(2012年5月4日現在2億1,570万ドル)、6月で2億ドルのチャレンジも終了しましたが、7月以降もポリオ・プラスへの寄付を通してポリオ撲滅のため、引き続きご支援をお願いいたします。2012年7月6日現在の今年の世界のポリオ発生状況はナイジェリア 52例、パキスタン 22例、アフガニスタン 10例、チャド 4例、計 88例です。
4. 2012年8月25日(土)に地区財団セミナーを開催致します。新しく生まれ変わるロータリー財団をご理解いただき、ロータリー財団活動を推進いただくため、ご出席の程よろしく願い申し上げます。

お知らせ

●東大阪東ロータリークラブ ビジターフィの変更(2012年7月1日より)

通常例会：3,000円

夜間例会：5,000円(詳細はクラブHPをご覧ください。)

●大阪イブニングロータリークラブ(2012年7月より)

年会費：340,000円 → 344,000円

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より

- ◎「あなたにとってロータリーとは何か 改訂版」
菅野 多利雄 2012 23p [申込先:緑ヶ丘病院 FAX(022)366-6243]
- ◎「国際ロータリーの考え方」
田村 泰三 2012 1p (D.2710月信)
- ◎「CLPアンケートについての考察」
前田 眞実 2010 4p (D.2720月信)
- ◎「続まことのロータリアン」
大澤 徳平 2002 1p (D.2640月信)
- ◎「クラブの「多様性」について」
積 惟貞 2012 1p (D.2620月信)
- ◎「P.F.ドロッカー5つの質問」
国永 秀男 2011 4p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎「中国『大国化』のなかでの日米関係」
松尾 文夫 2011 4p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「国際社会における日本の立場」
青山 繁晴 2011 4p (D.2660地区大会記録)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 高島 凱夫
- 地区代表幹事 村橋 義晃
- 地区副代表幹事 杉村 雅之
- 担当地区幹事 西田 未彦
- 担当地区幹事 梅原 一樹
- 事務局長 今井 貢二

2012-2013年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

- | | |
|---------|--------------------------|
| ガバナー | 高島 凱夫 |
| 地区代表幹事 | 村橋 義晃 |
| 地区副代表幹事 | 杉村 雅之 |
| 事務局長 | 今井 貢二 |
| 事務局員 | 栗正 久美
春名 志保
納多 寿恵子 |

●所在地・電話・FAX・E-mail

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

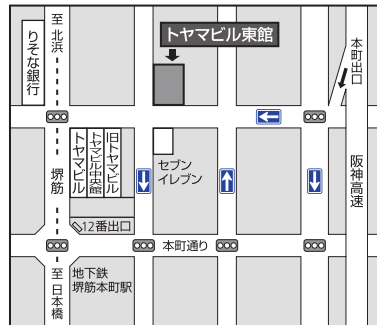
9:30～17:00

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2012年8月11日(土)～
2012年8月16日(木)
年末年始
2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名
詳細はガバナー事務所まで
お問い合わせください。



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 12番出口すぐ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL. 06-6264-2660 FAX. 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 JAPAN
TEL. +81-6-6264-2660 FAX. +81-6-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp